

日立産業用コンピュータ

HF-W6500

 モデル 35/30

取扱説明書 追補版

<本追補版の内容>

ご使用の OS が Windows Server® 2003 R2 の場合、本紙説明をご参照ください。

No	内容	取扱説明書の 対応する節
1	取扱説明書 追補版について	—
2	制限事項について	—
3	適用について	1. 1
4	システムの停止について	3. 3
5	内蔵 LAN インタフェースの注意事項について	3. 1 0
6	ビデオ表示画面の設定方法について	3. 1 1
7	装置仕様について	4. 1
8	保守サービス契約について	5. 4
9	保守操作支援コマンドについて	7. 5
1 0	保守サービスに関しての制限事項について	8. 3

ユーザーズ
マニュアル

1. 取扱説明書 追補版について

添付の取扱説明書は、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows Vista® Business を対象に記載しておりますので、本書にて Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition 搭載モデルの説明を補足します。

<商標について>

Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows Vista® Business、Microsoft® Windows Server® 2003 R2は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

2. 制限事項について

- HF-W6500 モデル 35/30 と Windows Server® 2003 R2 の組合せにて発生する制限事項

HF-W6500 モデル 35/30 と Windows Server® 2003 R2 との組合せではマルチモニタ機能は使用できません。マルチモニタの設定は絶対に行わないでください。マルチモニタの設定を行いますと、最悪ブルースクリーンが発生したり、システムを起動することができなくなる場合があります。

3. 適用について

取扱説明書P1-1を以下のように読み替えてください。

1. 1 適用

このマニュアルは、日立産業用コンピュータHF-W6500モデル35/30を操作する人（オペレータ）の日常運用にあたり必要となる、各種装置の操作、調整について記述したものです。この装置の構成は以下ようになります。

梱包を解いたら、「納入品明細票」にあるものがすべて揃っていることと、それぞれに損傷がないことを確認してください。万一、不足や損傷などの問題があるときは、弊社担当営業まで連絡してください。

- ・ HF-W6500モデル35/30本体
- ・ Microsoft® Windows® XP Professional (Embedded契約版) または
Microsoft® Windows Vista® Business (Embedded契約版) または
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Embedded契約版)
- ・ マウス
- ・ キーボード
- ・ 電源ケーブル
- ・ DMS-59 DVI分岐ケーブル
- ・ RASソフトウェア
- ・ 取扱説明書（このマニュアル）

（注）OEMまたは個別見積時は、一部構成が異なる場合があります。

また、ソフトウェアについては、以下のマニュアルを参照してください。

- ・ HF-W6500モデル35/30 ユーザーズリファレンスマニュアル（マニュアル番号 WIN-3-0068）
- ・ HF-W6500モデル35/30 セットアップガイド（マニュアル番号 WIN-3-0070）

4. システムの停止について

取扱説明書P3-2を以下のように読み替えてください。

3. 3 システムの停止

装置を停止する場合は、利用中のユーザがいないこと、バックグラウンド実行プログラムがないことを確認してから以下の処理をします。この処理をシャットダウンといいます。

- ・アプリケーションプログラムの停止
- ・オペレーティングシステム (OS) の停止

アプリケーションプログラムの具体的な停止方法は、ソフトウェアによって異なりますので、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

<オペレーティングシステムがWindows® XP Professionalの場合>

オペレーティングシステムを停止するには、画面左下の [スタート] ボタンをクリックし、[終了オプション] をクリックしてください。その後、[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されますので、[電源を切る] ボタンをクリックしてください。オペレーティングシステムのシャットダウン後、自動的に電源が切れ、補助電源だけが入っている状態になります（このとき、ステータスランプ (STATUS) は消灯し、スタンバイランプ (STBY) が点灯します）。

<オペレーティングシステムがWindows® Vista Businessの場合>

オペレーティングシステムを停止するには、画面左下の [Windowsロゴマーク] をクリックし、[Ⓜ] をクリックしてください。オペレーティングシステムのシャットダウン後、自動的に電源が切れ、補助電源だけが入っている状態になります（このとき、ステータスランプ (STATUS) は消灯し、スタンバイランプ (STBY) が点灯します）。

<オペレーティングシステムがWindows Server® 2003 R2, Standard Editionの場合>

オペレーティングシステムを停止するには、画面左下の [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックしてください。その後、[Windowsのシャットダウン] 画面が表示されますので、[シャットダウン] を選択し、[オプション] からシャットダウン理由を選択してください。シャットダウン理由として [その他] を選択した場合には [説明] に理由を入力してください。オペレーティングシステムのシャットダウン後、自動的に電源が切れ、補助電源だけが入っている状態になります（このとき、ステータスランプ (STATUS) は消灯し、スタンバイランプ (STBY) が点灯します）。

なお、通常の停止プロセスを実行できない場合（システムロックなどでシャットダウン要求が受け付けられない場合）は前面パネル右上部の保護カバーを開けて電源スイッチを4秒以上押ししてください。電源が切れ、補助電源だけが入っている状態になります。ただし、電源スイッチを4秒以上押し電源を切った場合、次回起動時にLAN経由では電源が入りませんので、緊急時以外は使用しないでください（「3. 7 LANを使用した電源制御方法」参照）。

<留意事項> Windows®のシャットダウンの注意事項

Dモデル（HJ-653*xxxxD）では、まれにRAID装置の処理待ちによってシャットダウン処理に5分程度かかる場合があるため、処理が完了する前に装置背面の主電源を切ったり、電源を再投入しないでください。

5. 内蔵 LAN インタフェースの注意事項について

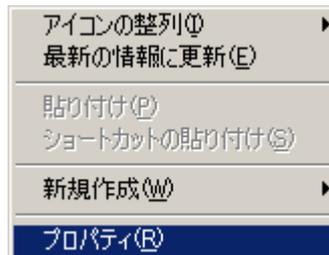
取扱説明書P3-10の「●ネットワーク転送速度の設定方法」およびP3-16の「●WOL設定の変更」は、それぞれ「(1) Windows® XPの場合」に従って設定してください。画面イメージはWindows® XPですが、Windows Server® 2003も同様の手順です。

6. ビデオ表示画面の設定方法について

取扱説明書P3-20の「ビデオ表示画面の設定方法」は、以下に従って設定してください。

3. 1 1 ビデオ表示画面の設定方法

- 画面の設定では、主に色数（画面の同時発色数）、解像度（画面を構成するドット数）、リフレッシュレート（1秒間に画面が更新される回数）とシングルディスプレイの設定ができます。
- Windows Server® 2003 R2搭載モデルでは、マルチモニタ機能をサポートしていません。
- 画面の設定は、NVIDIA社が提供している「NVIDIAコントロールパネル」は使用しないで、Windows標準の「画面のプロパティ」画面および「モニタの設定」画面を使用してください。解像度と色数の設定を「画面のプロパティ」画面にて行い、リフレッシュレートの設定を「モニタの設定」画面にて行います。
- 「画面のプロパティ」画面の起動方法
デスクトップ画面上で右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックしてください。



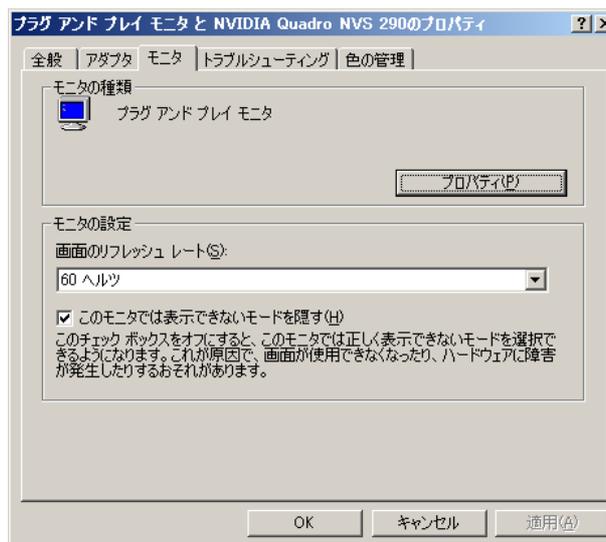
表示されたプロパティ画面の「設定」タブを選択してください。



- ・ [モニタの設定] 画面の起動方法
 [画面のプロパティ] 画面の [詳細設定] をクリックしてください。

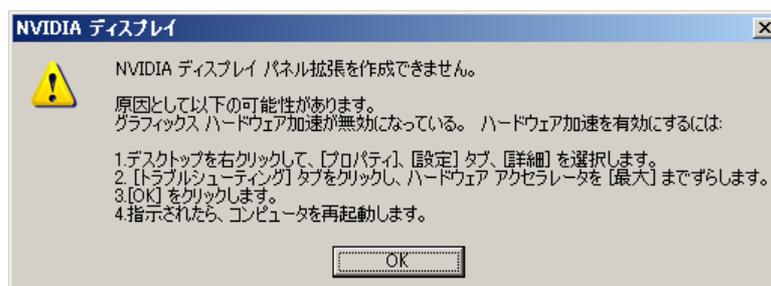


表示されたプロパティ画面の [モニタ] タブを選択してください。



<留意事項>

- ・ [画面のプロパティ] 画面の [詳細設定] をクリックしたとき下記の画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックして画面を閉じてください。表示された手順を実施する必要はありません。



7. 装置仕様について

取扱説明書P4-1、P4-2を以下のように読み替えてください。

4. 1 装置仕様

(1) 装置仕様

項目		仕様	
型式	HF-W6500 モデル 35/30		
	HJ-653*xxxxA (*1)	HJ-653*xxxxD (*1)	
OS (プレインストールモデル)	Microsoft® Windows® XP Professional (Embedded 契約版) または Microsoft® Windows Vista® Business (Embedded 契約版) または Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Embedded 契約版)		
プロセッサ	Intel® Pentium® Dual-Core Processor E2160(1.80GHz) または Intel® Core® 2 Duo Processor E6400 (2.13GHz)		
メインメモリ	512MB～4GB (*2)		
表示解像度・表示色		〔4. 1 装置仕様 (4) 画面設定〕参照	
内蔵 ファル装置	DVD	薄型 DVD-RAM (*6)	
	HDD	160GB 以上 SATA×1 (*3) (最大 2 台実装可能)	160GB 以上 SATA×2 (*3) (ミラー構成のため容量は 1 台分)
拡張 スロット	PCI	ロングサイズ×4 (汎用ベイ使用時、ショートサイズ×2、ロングサイズ×2)	
	PCI Express	ハーフサイズ PCI Express x1×1 ハーフサイズ PCI Express x8×1	ハーフサイズ PCI Express x1×1 PCI-Express x8 は RAID ホートが占有
インタ フェース	ディスプレイ	DVI-I 29 ピン×2 (分岐ケーブル使用) (*7)	
	キーボード	PS/2(MiniDIN6 ピン)	
	マウス	PS/2(MiniDIN6 ピン)	
	USB ポート	USB ポート×4 (前面×2、背面×2)、USB2.0/1.1 対応	
	シリアルポート	RS-232C (D-sub 9 ピン) ×1 (オプションで 1 ポート追加可能)	
	LAN ポート	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 自動切替×1 (RJ45、Wake on LAN™ 対応)	
	オーディオ	AC' 97 ライン入力×1、ライン出力×1	
	外部接点	オプション	
	パラレルポート	オプション(専用スロット)	
RAS 機能		ファン停止、温度異常、ウォッチドックタイマ、メモリアップ、CPU ストップ SMART、7 SEG LED 表示、簡易ハードウェア自己診断機能など	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		400×450×150 (*4)	
質量		約 13kg	約 14kg
省エネ法に 基づく表示	区分	i	
	エネルギー消費効率(*5)	モデル 35 : 0.0020 モデル 30 : 0.0024	モデル 35 : 0.0027 モデル 30 : 0.0028
突入電流		35A 以下(AC100V)	
漏洩電流		1mA 以下	
定格電力		430VA	
電源		AC 100-240V±10% (ワイドレンジ入力)	

- (*1) A モデル (シングルディスクモデル)、D モデル (ミラーディスクモデル) があります。
*にはプロセッサの種類が入ります。
0: Intel® Pentium® Dual-Core Processor E2160(1.80GHz)
5: Intel® Core®2 Duo Processor E6400 (2.13GHz)
xxxx には OS の種類が入ります。
6EW: Microsoft® Windows® XP Professional (Embedded 契約版)
7EW: Microsoft® Windows Vista® Business (32bit Embedded 契約版)
6ES: Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Embedded 契約版)
E: English J: Japanese の組み合わせで、6EWJ, 6EWE, 7EWJ, 7EWE, 6ESJ, 6ESE のいずれかになります。
また、OS なしモデルの場合は、NOSJ (国内向け)、NOSE (海外向け) になります。
- (*2) メインメモリに最大容量 (4GB) を実装した場合、OS の仕様によって使用可能メモリは約 3GB となります。
- (*3) HDD 容量は、1GB=10⁹ バイトとして計算しています。また、容量は採用部品によって変更となる場合があります。
- (*4) ラック取り付け金具、ゴム足を含みません。
- (*5) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法によって測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- (*6) この装置の DVD ドライブでサポートするメディアの種類は以下になります。
(読み出し対応) CD-ROM、DVD-ROM
(読み出し/書き込み対応) DVD-RAM
ただし、メディアの状態により、読み出し/書き込みができない事もありますので、その時は別のメディアを使用してください。
- (*7) Windows Server® 2003 R2搭載モデルでは、マルチモニタ機能をサポートしていません。

8. 保守サービス契約について

取扱説明書P5-6を以下のように読み替えてください。

5. 4 保守サービス契約

この装置では、情報制御システムに要求される24時間保守サポート、オンサイト対策、予防保守などのサポートサービスがあります。

また、装置と付随して納入した流通ソフトウェアに対する問い合わせなどにも対応します。

表 5 - 1 保守サービス対象範囲および保守期間

対象		保守サービスの対象範囲	保守期間	備考
ハードウェア	装置	○	10年 (*1)	
	オプション周辺機器	○	製造メーカーの保守可能期間に準ずる (*2)	
	推奨周辺機器	×	製造メーカーの保守可能期間に準ずる	マルチベンダーハードウェア保守サービスを適用します。
	上記以外のハードウェア	×	製造メーカーの保守可能期間に準ずる	マルチベンダーハードウェア保守サービスを適用します。
ソフトウェア	Microsoft® Windows® XP Professional (Embedded 契約版)	○	製造メーカーのサポート可能期間に準ずる	
	Microsoft® Windows Vista® Business (Embedded 契約版)			
	Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition (Embedded 契約版)			
	日立提供ソフトウェア (*3)	○	10年 (*1)	
	流通アプリケーション	×	—	製品提供元との保守契約となります。

○：対象

×：対象外

(*1) 保守サービス契約を締結したときは、ユーザに納入後、最大 10 年とします。保守サービス契約を締結していないときは、お預かりによる修理（ SEND BACK 修理）は納入後、10 年です。

(*2) 原則的に製造メーカーの保守部品供給期限および保守可能期限によります。

保守契約を締結していただくと、製造中止、保守期限、推奨代替機などの情報を適時に提供しますので、部分的なリプレースやオーバーホールなどによって長期にわたり安心してシステムを使用いただけます。

有償交換部品につきましては、「5. 3 有寿命部品」を参照してください。

(*3) RASソフトウェアを指します。

9. 保守操作支援コマンドについて

取扱説明書P7-18に記載の保守操作支援コマンドについて、以下の留意事項があります。

<留意事項>

Windows Server® 2003のターミナルなどで複数のコンソールから同一の保守操作支援コマンドを実行した場合、エラーが発生することがあります。この場合は、他のコンソールで実行中の当該コマンドが終了した後に再実行してください。

なお、コマンドプロンプトの起動手順は、「(1) Windows® XPの場合」の手順に従って実施してください。

10. 保守サービスに関する制限事項について

取扱説明書P8-5を以下のように読み替えてください。

8. 3 保守サービスに関する制限事項

- Microsoft® Windows® XP Professional、Windows® Vista Business、Windows Server® 2003 R2, Standard Editionおよび流通アプリケーションについては、障害対策のための改造ができない場合があります。障害対策として回避策を提示する場合があります。
- 弊社に無断で流通ハードウェアを追加実装された場合には、装置全体としての保証ができません。
- 採用している一部の部品（インテル株式会社製のLSIなど）については原因調査権がなく、部品の解体調査はできません。このため、原因についての報告は基本的には保守単位の交換部位報告だけとさせていただきます。
- この装置は、製品価格に保守サポート費用が含まれません。発注時には必ず保守契約による保守サポートレベルの明確化と、保守サポートレベルに応じた保守費の負担をしていただく必要があります。
- 故障時の修理は、機能的に互換性のある別装置への交換となる場合があります。